



研究テーマ

- 1 インターンシップのコーディネート
- 2 キャリア教育プログラムの設計及び運用
- 3 実社会をフィールドにした若者の挑戦やそれによる意識・行動変容に関する



桑畑 夏生

くわはた なつき
地域資源創成学部

講師

キーワード

インターンシップ、人材育成、グローバル、キャリア教育プログラム、留学支援プログラム、ワークショップ、ファシリテーター、イベント司会

特許情報・
共同研究・
応用分野など

【受賞歴】

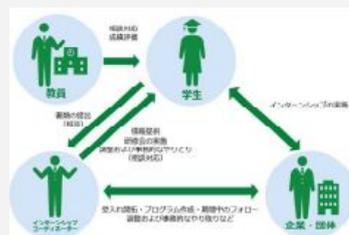
令和元年度大学等における
インターンシップ表彰 優
秀賞（文部科学省）

研究概要

新卒採用をしている企業のうち、2019年度にインターンシップを実施した企業は95.0%です。一方、学生の参加率は15年卒から上昇を続け、20年卒では62.2%と19年卒（55.9%）から6.5ポイント増加しています。インターンシップを実施する企業、インターンシップに参加する学生ともに増加傾向にあり、今後も増えていくことが予測されています。また、若者の勤労観・職業観を醸成する機会としても、産学連携によるインターンシップの展開は、期待されているところです。教育的観点はもちろんのこと、インターンシップを受け入れる企業側にとっても効果が高いインターンシップの仕組みの構築から運用の一貫したコーディネートに取組みとともに、それによる効果を研究しています。

1 インターンシップのコーディネート

本学部の「国内インターンシップ」のコーディネート教員として、インターンシップのプログラム設計から運用を担当しています。本カリキュラムは、学生が春休み・夏休みの1ヶ月間、主に県内の企業・自治体等において、受入れ先から与えられたミッションに取り組む実践型のインターンシップとなっています。受入れ先に具体的な成果をもたらすために、事前にヒアリングを行ったうえで1か月間のインターンシップのプログラムを設計しています。また学生の主体性を引き出すために、選考面接や事前・事後の研修会を設けています。



2 キャリア教育プログラムの設計及び運用

地域社会での実践的な学びの場・挑戦の機会を提供することで、生徒・学生の挑戦する力を引き出し、未来の選択肢を広げるサポートをします。企業や学校、自治体が取り組みたい事業や提供したいサービスについてヒアリングし、最適な仕組みや運用方法を構築します。



3 実社会をフィールドにした若者の挑戦やそれによる意識・行動変容に関する研究

インターンシップをはじめ実社会をフィールドとした若者（高校生・大学生）の挑戦が、若者自身や地域又は組織にどのような意識・行動の変化をもたらすのかについて研究しています。

ホームページ

地域資源創成学部 国内インターンシップ・海外短期研修 特設Webサイト
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/internchiiki/>

技術相談に応じられる関連分野

- ・社内改革や事業促進等に繋がるインターンシップ・プログラムの設計及び運用
- ・産学連携のキャリア教育プログラムの開発・運用

メッセージ

「若者（学生）と一緒に何か取り組んでみたい」「組織変革や事業の課題解決に若い人の力を導入してみたい」といったニーズがありましたら、お気軽にご連絡ください。